

一九八三年二月二十五日  
発行



第66卷 第2号 史学・地理学・考古学

論 説

- 糖業プランテーションとブスキ農村社会……………植 村 泰 夫 (1)
- 19世紀後半のフランス社会と教権主義……………上 垣 豊 (53)  
——非妥協的カトリックを中心に——
- 片 山 潜……………立 川 健 治 (84)

研究ノート

- ロシア革命直後の食糧政策……………梶 川 伸 一 (116)  
——商品交換制を中心に——

紹 介

- A. F. ライト著 布目潮風・中川努訳『隋代史』(ジョン・リ)

---

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

ない。まことに残念なことである。

最後に翻訳について少しふれよう。わかりやすく原文に忠実な翻訳だと思ふ。また粗末で簡略であった原注の代りに詳しい考証を加えた訳注を注いだのも非常に役に立つ。

(A5版 二八四頁 一九八二年一月  
法律文化社 三九〇〇円)  
(ジョン・リ 京都大学人文科学研究所外国人研修員)

### 受贈 図書

(一九八二年二月九日～五月一日)

日本民俗学(成城大学日本民俗学会)

一三八

日留山人著 建国の日は正しかった(タム

ラガーデン)

神道学(出雲大社神道学会) 一一二

立正大学文学部論叢 七二

日本学士院紀要(日本学士院) 三六一三、

三七一一、三七一二

岐阜史学(岐阜大学教育学部岐阜史学会)

七五

東洋学文獻類目(京都大学人文科学研究所)

一九七九年度

川内古代史論集(東北大学文学部古代史研

究会) 二

文理論集(西南学院大学) 二二二二

民族研究(北京民族研究編纂部) 一九

八二年一

史泉(関西大学史学会) 五六

人文論叢(東京工業大学) 七

文学会志(山口大学) 三三一

歴史教育論集(慶北大学校師範大学歴史

科) 二

論集(福島大学教育学部) 三三三

隼人文化(隼人文化研究会) 一〇

東京商船大学研究報告(東京商船大学)

三二

尋源(大谷大学国史研究会) 三三三

経済論究(九州大学大学院経済学会)

五三

学園史研究(梅花学園学園史研究会) 二

産業社会論集(立命館大学産業社会学会)

三〇、三一

広島大学文学部紀要(広島大学文学部)

四一

広島大学文学部紀要 特輯号(広島大学文

学部) 一、二、三

紀要論文総覧 二二巻～四〇巻(広島大学

文学部)

歴史学報(国立台湾師範大学歴史研究所)

九

隋唐仏教宗派研究(国立台湾師範大学歴史

研究所) 専刊(六) 顔尚文著

Korea Today(朝鮮社会科学学院) 一九八

二年一

西洋史学報(広島大学西洋史学研究会)

復刊八

研究紀要(尾道短期大学) 三一—一

人文論叢(福岡大学研究所) 一三一—四

鹿児島経大論集(鹿児島経済大学学会)

二二—四

岡崎市史研究(岡崎市史編纂委員会) 四

国史談話会雑誌(東北大学文学部国史談話

会) 二三

社会科学(朝鮮社会科学学院) 一九八一年

一六

坂野潤治著 大正政変(ミネルヴラ書房)

有坂隆道著 日本洋学史研究 M(創元

社)

山形大学史学論集 二

Советская Этнография 1983-1

人文科学論集(信州大学人文学部) 一六

札幌大学教養部・女子短期大学部紀要(札

幌大学) 一八、一九

- 八幡大学論集（八幡大学法経学会） 三二  
 一三、四  
 人文社会科学研究集報（鈴峯女子短期大  
 学）二八  
 文化学年報（同志社大学文学部文化学会）  
 三一  
 人文学（同志社大学人文学会） 一三七  
 社会科学（朝鮮社会科学院図書館） 一九  
 八二年—一  
 南方文化（天理南方文化研究会） 八  
 文明（東海大学文明研究所） 三四  
 東北学院大学論集（東北学院大学文経法学  
 会） 一一二  
 徳島大学教養部紀要（徳島大学教養部）  
 一七  
 経済経営論集（竜谷大学経済経営学会）  
 二一—四  
 奈良国立文化財研究所年報（奈良国立文化  
 財研究所） 一九八一年  
 渡辺則文編 産業の発達と地域社会（溪水  
 社）  
 一橋研究（一橋大学大学院） 五四  
 龍谷史壇（竜谷大学史学会） 八〇  
 郭沫若著 奴隸制時代（中国科学院図書  
 館）
- 文化語学習（朝鮮社会科学院図書館） 一  
 九七八年—四  
 韓国史研究彙報（朝鮮社会科学院） 三五  
 Korea Today（朝鮮社会科学院） 一九  
 八二年—三  
 歴史科学（朝鮮社会科学院） 一九八二年  
 一  
 社会科学（朝鮮社会科学院） 一九八二年  
 一  
 三浦古文化（京浜急行電鉄株式会社三浦古  
 文化研究会） 三〇  
 紀尾井史学（上智大学大学院史学専攻院生  
 会） 一  
 石炭研究資料叢書（九州大学石炭研究資料  
 センター） 三  
 社会科学論叢（長崎大学教育学部） 三一  
 金日成著作集 九（朝鮮社会科学院図書  
 館）  
 井上浩一著 ビザンツ帝国（井上浩一・岩  
 波書店）  
 オリエンツ（日本オリエンツ学会） 二四  
 一—二  
 神道史研究（八坂神社神道史学会） 三〇  
 一—  
 人文学報（京都大学人文科学研究所） 五
- 一  
 考古（中国科学院図書館） 一九八二年—  
 二  
 日本史研究（日本史研究会） 二一三六  
 文化（東北大学文学部） 四五—三、四  
 Current Contents of Academic Journals  
 in Japan, 1980（学会誌刊行センター）  
 立命館文学（立命館大学人文学会） 四三  
 七、四三八  
 民族研究（民族研究所 北京） 一九八二  
 年—二  
 研究年報（東洋大学アジア・アフリカ文化  
 研究所） 一九八一年  
 駿台史学（明治大学文学部駿台史学会）  
 五五  
 Korea Today（朝鮮社会科学院図書館）  
 一九八二年—四  
 文化語学習（朝鮮社会科学院図書館） 一  
 九八二年—一  
 史学論集（駒沢大学大学院史学会） 一一  
 Acta Historica XXVII Nr. 1-2  
 神道学（出雲大社神道学会） 一一三  
 人類学雑誌（日本人類学会） 九〇—二  
 史報（日本史学大学院合同発表大会実行委  
 員会） 三

人文論叢 (大阪市立大学大学院文学研究

科) 一〇

名古屋大学経済研究叢書 三 日本農業と

地域経済の分析 (名古屋大学経済学会)

東方学報 (京都大学人文科学研究所) 五

四

人文学科論集 (茨城大学人文学部) 一五

紀要 史学科 (中央大学文学部) 二七

日本文化研究所研究報告 (東北大学日本文

化研究所) 別巻一九

人文学部紀要 社会科学 (茨木大学人文学

部) 一五

### 編集後記

資料の欠落に悩みながら、ジャワ糖業プ  
ランテーションの実態の全面説明をめざす  
連作の一環、植村論文。我国フランス政治  
・社会史研究に新風を吹き込む、新鋭上垣  
氏の処女論文。ユニークな方法論によって、  
我国黎明期社会主義思想を代表する片山潜  
の心情にまでせまろうとした立川論文。ロ  
シア社会主義建設期の経済問題を扱う一連  
の作業に位置づけられる梶川氏の研究ノ

ト。いずれも力作ぞろいです。御吟味下さ  
い。

編集委員の任期は二年が多いようですが、  
中には六年の超ベテランや、一時引退後の  
再任(予定)などもあり、いずれの研究室  
でも後任の発見では探めるようです。

某研究室後任者「工作」での会話

被工作者——今年是非常勤務講師など九駒も  
やらねばならないのだが。

工作者——それはODの常態である。

被工作者——編集委員をやることのメリッ  
トはいったい何なのか、あるのか。

工作者——「一瞬つまって」各研究分野  
のインシュ、プロブレマティク、考え

方は、歴史に関わる点で共通のものがあ  
ると同時に、かなり異なってもいる。編  
集会議の議論で、共通性を再認識できる  
こと自体大きいし、又逆に、某先生が

「直接的には無関係の分野の話聞いた  
時の方が、ヒントを得たりインスパイア  
されることが多い。何よりも安心して聞  
いていられる」と述べておられたことを  
思い出す。最後の点は本音も交えた冗談  
であるが、後はその通りだと思う。とに

かく勉強になることは疑いがない。

「被工作者」がメリットを自ら問うた事  
は、ひきうけることを避ける手段としては  
失敗だったわけですが、改めて考えるに、  
右記のメリットはその通りだと言うのが、  
何やかや言っても、編集子の共通の思いで  
ありましよう。その他にも、改めて原稿用  
紙の使い方、表記方法などを再確認させら  
れたりしました。編集委員をやらせていた  
だいた事を改めて感謝したいと思います。  
既に四月からの後任者が確定している者の  
み記します。田中俊明が靱山明氏に、長倉  
敏が森原隆氏に代っていただきます。  
(もう一人の敏)

一九八三年二月二五日印刷 定価九〇〇円  
一九八三年三月一日発行

史林 (第六六卷第二号)

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部

発行人 史学研究会

理事長 岸 俊 男  
振替京都七五一五五番

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内中町五〇  
中村印刷株式会社

# THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. LXVI No. 2 Mar. 1983

---

## CONTENTS

### Article :

La plantation de canne à sucre et la société  
rurale en Java, cas de la *residentie Bezoeki*.....Y. UEMURA ( 1 )

La société française et le cléricanisme  
à la deuxième moitié du XIX<sup>e</sup> siècle .....Y. UEGAKI (53)

*Katayama Sen* 片山 潜 ..... K. Tachikawa (84)

### Note :

Продовольственная Политика в первые годы  
Советской Власти .....С. Каджикава (116)

### Miscellaneous :

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369